

広報

よしだ

2

2021 No.739

—特集—

令和3年成人式
新成人328人が新たな門出

東日本大震災から10年
絶対に忘れない。
「3.11」の記憶と教訓

Topics

吉田町書き初め展
書き初め234点
力作の中から入賞作品を決定

まちのHERO消防団

新型コロナウイルス感染症に
関する最新情報はこちら▼

吉田町 コロナ

検索



C O N T E N T S

特集
令和3年成人式
新成人328人が新たな門出 03

東日本大震災から10年
絶対に忘れない。
「3.11」の記憶と教訓 06

まちからのお知らせ 08

Topics1
吉田町書き初め展
書き初め234点
力作の中から入賞作品を決定 10

保健だより 11

まちのHERO消防団 12

まちのわだい 13

情報ボックス 14

としょかんだより 18

学校給食メニュー、人の動き ほか 19

かがやく笑顔
Happy Birthday (ハッピーバースデー) 20



令和3年成人式

新成人328人が新たな門出

成人の日を前に1月10日、吉田中学校の体育館で成人式が開かれ、町内の新成人328人（平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ）の門出を祝いました。式典には色鮮やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ初々しい男女、合わせて227人が出席。久しぶりに訪れた母校で、近況を報告し合ったり思い出の詰まった校舎をバックに記念写真を撮ったりしながら、同級生との再会を喜びました。

式典の中で、田村町長は「皆さんがこれから歩む長い人生では、大きな困難にぶつかることがあるかもしれません。しかしそんな時こそ新たな道を切り開くチャンスだと思ってほしい。これからは時代の変化に合わせて自分を変えていくことが大切です。世の中の流れをうまく捉えて困難を打ち破れば、新たな道を切り開いていくはず。皆さんはこれから迎える新時代の挑戦者であり主役です。一人一人の人生に幸多きことを心から願います」とエールを送りました。

そのほか、来賓からの祝福と激励の言葉を受け、新成人を代表して中島香菜さんが「20歳の節目を多くの皆さんに祝福していただき、とてもうれしく思います。私たち

が今日の日を笑顔で迎えることができただけで、私たちが導き見守ってくださった恩師や地域の皆さん、かけがえない友人たち、そしてたくさんのお父さん、お母さん、そして家族のおかげです。不況やコロナ禍が続く現在の状況は、まだまだ未熟な私たちにとってとても厳しい環境ですが、今、胸いっぱい、に広がるこの感謝の気持ちと吉田で生まれ育った誇り、成人としての決意を心に刻み、これからの人生を笑顔で前向きに歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。

第2部の記念行事では中学校時代の恩師が懐かしい思い出話を交えながら、成長した教え子たちに励ましの言葉を贈りました。

新たな門出を迎えた新成人たちは、責任ある大人としての自覚とそれぞれの思いを胸に、未来への第一歩を踏み出しました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より広い会場や時間を半分程度に短縮して式典を開催。手指消毒や検温、マスク着用などの徹底を呼び掛けました。

令和3年 全国の新成人
1月1日時点で124万人
(男64万人/女60万人)
総務省統計局報道発表資料より



恩師からのメッセージ

成人式の第2部では恩師から、励ましの言葉が贈られました。()内は当時の担任クラス

皆さんと過ごした当時はいろんな経験をいっしょに詰めた時間だったことを覚えています。今日は皆さんの成長した姿を見ることができ本当に幸せです。これからいろいろなことに挑戦して視野を広げ、豊かな人生を送ってください。

まつうらあきひこ
松浦昭彦さん
(3年4組)

中学校を卒業してからたくさん経験を積んで来たと思いますが、みんなの晴れ姿を見てると未来は明るく感じます。これから立派な成人として、自分たちの判断と責任で道を選び、いい人生を送ってください。

さとうこうじ
佐藤浩司さん
(3年5組)

今日は大人になった皆さんに会えるのを心待ちにしていました。これからの人生、いろんなことがあると思いますが、皆さん一人一人がこの世界の主人公です。体を大事にしながらか自分らしく歩いてください。

おおいし まお
大石麻央(旧姓齋藤)さん
(3年9組)

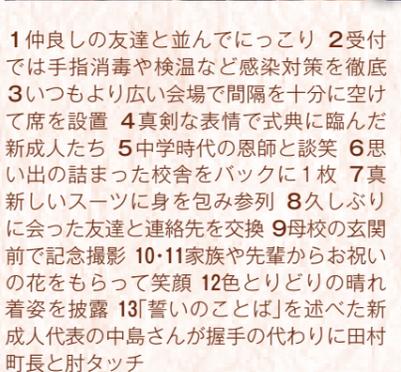


Photo Report

※一部、撮影のため一時的にマスクを外しています。

1 仲良しの友達と並んでにっこり 2 受付では手指消毒や検温など感染対策を徹底 3 いつもより広い会場の間隔を十分に空けて席を設置 4 真剣な表情で式典に臨んだ新成人たち 5 中学時代の恩師と談笑 6 思い出の詰まった校舎をバックに1枚 7 真新しいスーツに身を包み参列 8 久しぶりに会った友達と連絡先を交換 9 母校の玄関前で記念撮影 10・11 家族や先輩からお祝いの花をもらって笑顔 12 色とりどりの晴れ着姿を披露 13 「誓いのことば」を述べた新成人代表の中島さんが握手の代わりに田村町長と肘タッチ

14 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

15 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

16 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

17 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

18 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

19 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

20 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

21 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

22 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

23 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

24 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

25 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

26 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

27 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

28 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

29 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける

30 会場内を歩き回り、お祝いメッセージを届ける



よしむらしおん
吉村紫音
(大学生)

① 考え中
② 「笑う門には福来たる」毎日笑って過ごしています！
③ 自分の行動に責任を持ち、毎日楽しく精いっぱい生きる。
④ 今まで育ててくれてありがとう。
⑤ 夜空がきれいに見えるところ



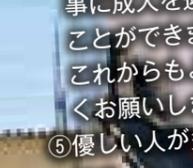

よしだめぐみ
吉田 恵
(会社員)

① 幸せな家庭を築く。
② 一期一会
③ これまでお世話になった人たちに感謝し、たくさん恩返ししていきたい。
④ 20年間育ててくれてありがとう。まだまだ心配をかけるかもしれないけど、これからもよろしく願います。
⑤ 小山城からのきれいな景色



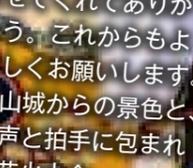

くぼやまちなつ
久保山千夏
(会社員)

① 幸せな家庭を築く。
② 感謝の気持ちを忘れないこと
③ 周囲に気を配ることができる大人になる。笑顔の絶えない毎日を過ごす。
④ 20年間育ててくれてありがとう。無事に成人を迎えることができました。これからもよろしく願います。
⑤ 優しい人が多いところ

なかしまかほ
中島香菜
(専門学生)

① 楽しく健康に生きる。
② ポジティブシンキング
③ 一日に笑う数は子どもは400回、大人は15回程度というけど、私は子どもと同じくらいたくさん笑って過ごしていく。
④ 20年間ここまで成長させてくれてありがとう。これからもよろしく願います。
⑤ 小山城からの景色と、歓声と拍手に包まれる花火大会

祝20歳
～ハタチの誓い～

大人の仲間入りを果たした新成人にインタビュー。将来の夢や成人の決意などを聞きました。

① 将来の夢は何ですか？
② あなたが普段大事にしていることを教えてください。
③ 成人を迎えた今、成人としての決意は？
④ 今まで育ててくれた家族に一言お願いします。
⑤ 吉田町のどんなところが好きですか？

04



東日本大震災から10年

絶対に忘れない。 「3.11」の記憶と教訓

観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、地震や大津波が未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年がたとうとしています。あの災害を教訓に町が進める「津波防災まちづくり」のこれまでの主な取り組みについて振り返りながら、今一度、災害に「備える」ことの大切さについて考えてみませんか。

生命と財産を守る施設を整備

沿岸部に位置する吉田町は、東日本大震災の津波被害を踏まえ、震災後「津波防災まちづくり」の推進を掲げてさまざまな防災対策に取り組んできました。震災発生から約8カ月後には、1000年に一度の大津波を想定した津波ハザードマップを作成し、その後、吉田町津波避難計画を策定。この計画に基づき、想定津波浸水域を20の街区に分け、学校やホテルなどの現況施設に避難できない15街区には、全国に先駆けて強固な津波避難タワーを建設しました。その後、吉田漁港東側に防潮堤機能を兼ね備えた多目的広場の整備を開始。現在は、多目的広場から大井川河口までの川尻区沿岸部約2.0キロに、高さ11.8メートルの防潮堤整備を進めています。

避難生活を想定した対策

生命と財産を守る施設の整備に加え、被災後の避難生活を想定した対策も進めてきました。救護室や母子専用避難支援センターなど防災機能を備えたすみれ保育園や、被災時に仮設住宅用地となる約1.4ヘクタールの防災公園を整備したほか、避難所となる小中学校体育館に空調設備を設置しました。

情報提供体制の強化

防災情報などを確実に伝えるため、同報無線を受信できる防災ラジオを1世帯に1台、無償で配布しています。同報無線については町内全てのスピーカーをデジタル化し、「同報無線を聞き逃した」聞き取れなかった」などの場合に放送内容を確認できる電話応答サービス（☎33-2777）も実施しています。また災害時の情報伝達手段を充実させるため、防災緊急情報を登録したメールアドレスに配信する「よしだ防災メール」を運用し、本年度からは「Yahoo!防災速報アプリ」の運用もスタートさせ、町が発信する防災緊急情報をプッシュ通知で受信できるようにしました。

地域防災力の強化

地域防災の中心的な役割を果たす「地域防災指導員」の養成講座を開催しています。町から認定された指導員は、総合防災訓練において講師を務めるなど、住民の防災意識を向上させ、地域防災力を強化するために活躍しています。

未来へつなぐ取り組み

次世代の地域防災リーダーを育成するため、中学生を対象に防災

初めて上った防潮堤の高さにびっくりのとても高い津波がくると知って、すごく怖いと感じた。防災公園ではマンホールトイレの使い方や備蓄用品について教えてもらい、避難した後の生活に備えることの大切さが分かった。これからも防災について勉強し、もしもの時には困っている人を支援できるようにしたい。

防災ツアーで学んだ
山田純也くん(住吉小5年)



の知識や災害時の行動、AEDの使用方法などを学ぶ「ジュニア防災士養成講座」を実施しています。また本年度は、小学生が総合的な学習の時間を利用して災害に対する対策について学び、町の防災施設を見学する防災ツアーを実施するなど、未来を担う子どもたちの防災意識の向上に努めています。震災から10年という長い時間がたちました。復旧や復興が進むにつれて、震災の記憶は徐々に風化し、災害に「備える」意識も低下しているかもしれません。いざ災害が発生したときに大切な命を守る事ができるよう、3月11日や防災訓練の日には、避難路や避難する時に必要な物を確認するなど、災害に「備える」ことを意識する機会を持つことが大切です。



整備を進める川尻海岸防潮堤

3月7日②は「津波避難訓練」 家庭で防災対策を確認しよう

3月7日に予定している津波避難訓練では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集型の訓練は実施しませんが、家庭内で防災対策を確認するようにしてください。

シェイクアウト訓練

地震が起きたときに素早く身を守る行動をとることができるよう、3つの安全行動（①すぐに姿勢を低くする②手や腕で頭や首を守る③机の下などに潜って揺れが収まるまでじっと待つ）を約1分間実施しましょう。



迅速な避難に向けた対策

家族構成を考え、必要な物をそろえて非常用持ち出し袋などに入れておきましょう。また冷蔵庫や大型のタンスなどは固定して転倒を防ぎ、階段や玄関に物を置きすぎないなどスムーズに避難できるように備えましょう。



家族などの連絡体制チェック

家族が離れた場所で被災した時のことを考え、安否確認の手段をチェックしておくことが大切です。公衆電話などから利用できる災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話の「災害用伝言板」などのサービスを調べておきましょう。



津波防災まちづくり10年間の歩み

(一部事業のみ抜粋)

現在	令和元年	平成28年	平成27年	平成26年	平成23年
多目的広場や防潮堤の整備を進める 町民の生命と財産、町内企業の生産活動を津波から守るため、沿岸部の整備を進める。	小中学校体育館に空調設備を設置 避難所の利用環境を向上するため、小中学校体育館に空調設備を設置	防災公園を整備 仮設住宅用地や防災情報の発信拠点となる防災公園を整備	すみれ保育園を移転整備 防災機能を備える保育園を想定津波浸水域外に整備	津波避難タワーが完成 現況施設に避難できない15街区に津波避難タワーを設置	津波ハザードマップを作成 1000年に一度の大津波を想定した津波ハザードマップを作成
多目的広場	学校体育館の空調設備	上空から見た防災公園	すみれ保育園	ジュニア防災士養成講座	津波避難タワー

原付・軽自動車税の課税は4月1日が基準 登録変更手続きは済んでいますか

軽自動車税は、毎年4月1日現在で登録している原付・軽自動車の所有者に課税されます。廃車手続きを済ませずに放置している人や他人に譲渡してまだ名義変更の手続きをしていない人などは、廃車、名義変更の手続きを必ず済ませるようにしてください。また他市区町村から町内に転入した人で、原付・軽自動車の登録住所が旧住所のままになっている場合は、住所変更の手続きをしてください。車種により手続きをする場所が異なります。原付・軽自動車登録変更の手続き場所は、下記の表の通りです。



※静岡ナンバーの登録については、最寄りのモーターズや榛原家用自動車協会(牧之原市静波1725-18 電話22-0010)でも手続きを代行しています。

車種	ナンバー	手続き場所
原動機付自転車(125cc以下) 小型特殊自動車	吉田町	吉田町役場1階 税務課 (手続きに必要なもの)ナンバープレート・標識交付証明書・印鑑
軽二輪車 (125cc超~250cc以下)	静岡	静岡県軽自動車販売店協会 静岡市駿河区国吉田1丁目1-27 電話054-261-6337
二輪の小型自動車 (250cc超)	静岡	中部運輸局静岡運輸支局 静岡市駿河区国吉田2丁目4-25 電話050-5540-2050 ※県外で廃車、譲渡された場合は税務課に連絡してください。
軽自動車 (三輪・四輪)	静岡	軽自動車検査協会静岡事務所 静岡市駿河区国吉田1丁目1-26 電話050-3816-1776

税務課 収納管理部門
電話33-2109

原付および軽自動車登録変更の手続き場所

証明書などの発行は便利な自動交付機で マイナンバーカードが使用可能に

役場北側に設置している自動交付機では、よしだ町民カード(暗証番号が登録されているもの)に加え、マイナンバーカード(利用者証明用電子証明書の暗証番号が登録されているもの)でも住民票の写しや印鑑登録証明書など各種証明書が取得できるようになりました。

取得できる証明書

- ①住民票の写し
 - ②印鑑登録証明書
 - ③戸籍謄本・抄本、戸籍の附票
- ※証明書は全て発行時点の内容
- ※①②は吉田町に住民登録がある場合のみ交付
- ※③は吉田町に住所と本籍地がある場合のみ交付

利用できる日

年末年始、点検日などを除く毎日
時間 8:15~21:00

証明書交付手数料(1通あたり)

証明書	手数料
住民票の写し	300円
印鑑登録証明書	300円
戸籍謄本・抄本	450円
戸籍の附票	300円

※手数料は窓口交付の場合と同額
※10・50・100・500円硬貨と1,000円紙幣が使用できます。

問い合わせ

町民課 住民窓口部門
電話33-2101

あー、熱がある！まさかコロナ？

ちょっと待って！まずは電話で、かかりつけ医に相談しなさい！

いざという時のために、記事をあらかじめ登録しておいてよかった

先生、子どもが熱を出しまして... どうしたらいいですか？

焦らないで行動することが大切だね

皆さんも「よしポケNEWS」をチェックしてみてくださいね！

▽ダウンロードはこちらから▽



「水道水質検査計画(案)」を策定 皆さんの意見を募集します

上下水道課では水質基準に適合した水道水を供給するため、毎年度水道水質検査計画を策定し、その計画に基づいて水質検査を実施しています。このたび、令和3年度の計画(案)を策定しましたので、町民の皆さんに公表し、上下水道課窓口へ備え付けの用紙により皆さんの意見を募集します。

募集期間 3月1日(月)~12日(金)
(土曜日を除く)

場所 上下水道課(役場2階)
※日曜日は情報コーナー(役場1階)で実施

問い合わせ
上下水道課 水道工務部門
電話33-2128

「農地転用」の許可が必要です

農地転用とは...

農地転用とは、農地を農地以外に変更することです。例えば、畑や田んぼを住宅や工場、駐車場などにして利用する場合があります。いま現在、田畑として利用されている土地は農地であるとみなされるため、登記地目が「田」や「畑」でなくても、現状耕作されている土地を転用する場合には手続きが必要となりますので注意してください。

許可なく転用した場合は農地法に違反することとなり、工事の中

止や原状回復などの指導を実施します。個人は3年以下の懲役または300万円以下の罰金、法人は1億円以下の罰金が科せられます。

手続き・相談は町農業委員会に

農地転用の申請手続きなどについては、町ホームページで確認できます。詳細は町農業委員会に問い合わせてください。

問い合わせ
町農業委員会事務局
(産業課農政部門内)
電話33-2121

創業を目指す人のために 創業支援センターの入居者を募集

創業を目指す人や創業して間もない人(接客事業除く)を支援するため、事務室や打ち合わせスペースなどの仕事に必要な環境を提供しています。

使用料 1万8700円(税込)/月
※水道、電気代込み

物件 川尻1621(川尻会館東側)
事務室は約16㎡

利用条件 事務室の使用期間終了後も引き続き町内で事業を営む意志があり、次のいずれかに該当する人

- ①事務室使用開始から1年以内
- ②創業後3年以内の個人、団体、小規模企業者

※卸売業、小売業またはサービス業で接客を業務とする事業を行うことを目的として事務室を使用することはできません。

申込方法 利用を希望する場合は、産業課まで連絡してください。必要書類や記入事項など詳細について説明します。

問い合わせ
産業課 商工観光水産部門
電話33-2122

もしも発熱したら...
まずは電話で相談してください

発熱などの症状が出たら、まずはかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談しましょう。どこに相談したらいいかわからない場合には、下記の相談窓口に電話してください。

榛原総合病院「発熱相談ダイヤル」
電話22-9599
(9:00~16:30/平日のみ)

県発熱等受診相談センター
電話050-5371-0561
(24時間対応/土日祝も相談できます)

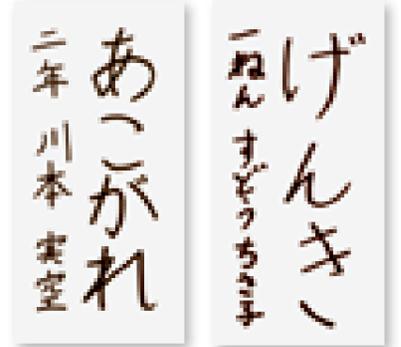
吉田町書き初め展
書き初め234点
力作の中から
入賞作品を決定



町内小中学校の児童、生徒から出展された「吉田町書き初め展」の入賞作品が決定しました。1月18日に役場町民ホールで開かれた審査会では、各学校から集まった代表作品234点を、書写担当教諭が止めやはらい、バランスなどを1点ずつ審査し、82点の入賞作品（町長賞各学年1点、教育長賞各学年2点、特選55点）を決定しました。結果は次の通りです（町長賞・教育長賞のみ掲載、敬称略）。



- 小学生の部
- ① 須藤千咲子（中央小1年）
 - ② 川本実空（住吉小2年）
 - ③ 杉本野々花（中央小3年）
 - ④ 加藤聡吾（自彊小4年）
 - ⑤ 大石穂香（中央小5年）
 - ⑥ 藤岡かや（住吉小6年）
- 中学生の部
- ⑦ 横田麻生（吉田中1年）
 - ⑧ 澤野由季（吉田中2年）
 - ⑨ 田中万釉（吉田中3年）



- 小学生の部
- ③ 松本虹来（中央小1年）
 - ④ 森田優花（中央小1年）
 - ⑤ 大石琴子（中央小2年）
 - ⑥ 海瀬燈馬（自彊小2年）
 - ⑦ 福世聖那（中央小3年）
 - ⑧ 芝田心優（中央小3年）
 - ⑨ 勝見咲礼（中央小4年）
 - ⑩ 鈴木沙実（中央小4年）
 - ⑪ 増田美来（中央小5年）
 - ⑫ 中村友保（中央小5年）
 - ⑬ 浅井美羽（中央小6年）
 - ⑭ 黒田保野花（中央小6年）
- 中学生の部
- ⑦ 野中梨央（吉田中1年）
 - ⑧ 高橋希果（吉田中1年）
 - ⑨ 村田優理（吉田中2年）
 - ⑩ 三輪涼香（吉田中2年）
 - ⑪ 藁科海音（吉田中3年）
 - ⑫ 長谷川心海（吉田中3年）

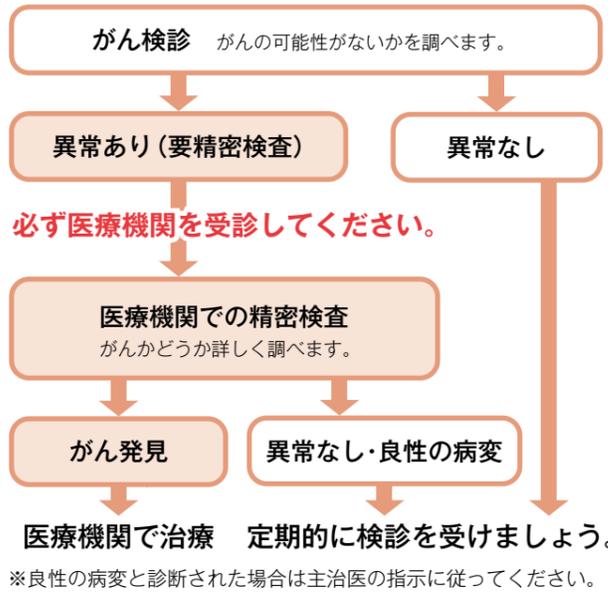
保健



がん検診で「要精密検査」になったら…

健康づくり課（保健センター） 直32-7000

がん検診受診からがん発見までの流れ



がん検診の結果が「要精密検査」となった人がそのまま検査を受けずにいると、がんを発見するチャンスを見逃してしまうかもしれません。昨年度実施した町のがん検診では320人が要精密検査となり、その後、8人ががんが発見されています。検査の対象となった人は、必ず医療機関を受診し精密検査を受けましょう。

がん治療のカギは
早期発見・早期治療

県の人口動態統計によると、吉田町民の平成30年における死亡原因の第1位はがんです。全体の約2割を占めています。昨年4月に公表された国立がん研究センターの調査によると、平成21～23年のがんと診断された患者の5年後の生存率は64・1%ですが、がんが発症部位のみにあり転移していない段階で発見された場合には92・4%となっています。がんは発見が遅れて転移が進むほど生存率が下がります。がんの治療には早期発見・早期治療がカギとなります。がんは誰もがなりうる病気です。早期発見のため、定期的ながん検診を受けましょう。

がん予防のための
5つのポイント

- ① 禁煙 国立がん研究センターによると、がんの予防には①禁煙②節酒③食生活④身体活動⑤適正体重の5つが重要です。この全てを適切に管理して生活している人は、0または1つだけの人に比べてがんになるリスクが男性で43%、女性で37%低くなることされています。
- ② 節酒 たばこを吸う人は吸わない人に比べてがんになるリスクが約1・5倍高く、また受動喫煙もがんになるリスクを高めるので、自分だけでなく周りの人のためにも禁煙は重要です。
- ③ 食生活 塩分の取り過ぎや野菜不足などもがんの原因になります。1日当たりの塩分摂取量を男性は7・5g、女性は6・5g未満に抑え、1日350gの野菜を取ることが目標になります。
- ④ 身体活動 よく体を動かす人ほど、がんになるリスクが低くなるというわれています。適度な運動を心掛けましょう。
- ⑤ 適正体重 太りすぎや痩せすぎは、がんになるリスクを高めるといわれています。BMIで18・5～24・9が適正体重の目安です（年齢や体格などにより異なります）。

【参考】厚生労働省「日本人の食事摂取基準2020年版」「健康日本21（第2次）」
※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

まちのわだい

住吉小・中央小・自彊小で書き初め会 筆一筆に思い込めて丁寧に

町内の3小学校で、それぞれ全校児童が参加して書き初め会が開かれました。1・2年生は教室でフェルトペンを使った硬筆を、3～6年生は体育館で学年ごとに時間をずらして毛筆の書き初めを清書。静寂に包まれた会場の中で、児童は横に置いた手本を見ながら文字の止めやはらいに気を付け、約1時間にわたって真剣な表情で筆を走らせた。

児童は、何枚も書き上げた作品の中から最も上手に書けた1枚を選んで提出。体育館のステージ上には、町主催の書き初め展へ出品する児童たちの自信作がずらりと並びました。

自彊小学校6年生の加藤結津紀くんは「冬休みに一生懸命練習してきた。手本をよく見て、墨の量や文字のバランスに気を付けながら、静かな中で集中して書くことができたと思う」と話していました。

1 静寂の中、集中して清書に臨む児童たち 2 1・2年生は教室で硬筆に挑戦 3 力強い筆運びで書き上げた会心の1枚 4 ステージの上には児童の自信作がずらり 5 一人一人十分な間隔を空けて体育館いっぱいに広がり、一斉に書き初めをスタート



▲栄養教諭からアドバイスを受けながら、園児たちがトングなどを使って上手に配膳

初 保育園年長児学校給食体験 初めての給食 笑顔で味わう

町内の各保育園で、来年度小学校に入学する年長児が学校給食を体験しました。そのうち、わかば保育園では1月15日、年長児32人が給食の配膳や食べる時の姿勢などを吉田榛原学校給食共同調理場の栄養教諭から学びました。園児たちはグループごとに配膳係を交代しながら、緊張した表情で1人分のパンやシチューを盛り付け、初めての給食を味わいました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園児たちはおしゃべりをせず静かに食事の時間を過ごし、時折にっこりと笑い合いながらおいしそうに給食を頬張っていました。

受 県すこやか長寿祭熟年メッセージ大会でグランプリ 賞の喜びを報告「感謝の気持ちでいっぱい」

県すこやか長寿祭熟年メッセージ大会(しずおか健康長寿財団主催)でグランプリを受賞した大村初恵さん(73歳・住吉)が1月29日、役場を訪れ、田村町長に受賞の喜びを報告しました。栄養士としての経験を生かした食事指導のボランティアや、自ら育てた花の寄付をすることなどが生きがいとつづった大村さんの作品「感謝の道が私のいきがい」は、さまざまな人への感謝の気持ちを具体的な活動につなげた点などが評価され受賞。大村さんは「皆さんへの感謝の気持ちでいっぱい。この受賞を励みに今後も活動を続けていきたい」とうれしそうに話していました。



▲役場を訪れ、作品への思いや受賞の喜びを田村町長に報告する大村さん

まちのHERO 消防団 Volunteer fire corps



長年にわたり消防団活動に従事する団員の皆さんに対し、例年は1月に開催される町消防団出初め式において表彰状が手渡されています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典が中止となりましたので、表彰状は今後、随時手渡されます。受賞者の皆さんは下記の通りです(敬称略)。

日本消防協会長表彰

精績章

副団長 大石由記(本部)

静岡県消防協会長表彰

特別功労章・勤続功労章 (20年以上勤続)

本部長 石橋 健(本部)

功労章・勤続功労章 (15年以上勤続)

本部長 中村恵太(本部)

本部長 松浦大地(本部)

分団長 大石嗣也(第4分団)

副分団長 野中崇智(第1分団)

班長 杉本久樹(第1分団)

班長 藁科隆昌(第1分団)

班長 鈴木雅直(第2分団)

勤続功労章(10年以上勤続)

班長 福世尚紀(第1分団)

班長 大石真司(第4分団)

団員 大塚晃央(第1分団)

団員 橋田友義(第1分団)

静岡県消防協会榛原支部長表彰

特別功労章

分団長 鈴木 茂(第1分団)

分団長 西谷雄哉(第2分団)

功績章(10年以上勤続)

班長 福世尚紀(第1分団)

班長 大石真司(第4分団)

団員 大塚晃央(第1分団)

団員 橋田友義(第1分団)

勤続功労賞(5年勤続)

班長 久保田成則(第2分団)

班長 松下夕介(第3分団)

班長 吉永 航(第4分団)

団員 野中伸晃(第1分団)

団員 望月孝弥(第1分団)

団員 田中祐矢(第1分団)

団員 岩本俊介(第2分団)

吉田町長表彰

優良団員(5年以上勤続)

班長 久保田成則(第2分団)

班長 松下夕介(第3分団)

班長 吉永 航(第4分団)

団員 野中伸晃(第1分団)

団員 望月孝弥(第1分団)

団員 田中祐矢(第1分団)

団員 岩本俊介(第2分団)

退職消防団員に対する 消防庁長官の報償(銀杯) (令和2年3月退職団員)

1号報償(25年以上勤続)

元本部長 江野直実(勤続27年)

2号報償(15年以上勤続)

元本部長 横田昌之(勤続19年)

防災課 地域安全部門

☎33-2134

県広報コンクール 「広報よしだ」が最優秀賞

県広報コンクール審査結果が1月20日に発表され、「広報よしだ」が町広報紙部門で最優秀賞、一枚写真部門で優秀賞、組み写真部門で奨励賞を受賞しました。同コンクールは、昨年中に発行された県内自治体の広報媒体を対象に実施するもので、本年度は広報紙や写真など6部門に96点が出席され、報道関係者やカメラマン、デザイナーらが厳正に審査し、33点の作品が選ばれました。最優秀賞を受賞した作品は全国広報コンクールに県代表として推薦されます。今後も皆さんの役に立ち、身近で親しまれる広報紙づくりに目指していきます。



組み写真部門で奨励賞を受賞した2020年11月号06-07「小中学校で運動会」



広報紙部門で最優秀賞、一枚写真部門で表紙が優秀賞を受賞した2020年10月号



広報活動に関するアンケート

皆さんの声を聴かせてください!

町の広報活動に関して、皆さんの満足度や皆さんがどのような方法で情報を入手しているかなどを把握し、より良い広報活動につなげていくことを目的に、2月28日(日)までアンケート調査を実施しています。ご協力をお願いします。

アンケートはこちらから▶

総務課 秘書広報部門 ☎33-2131

案内 介護予防体操で介護予防に取り組みませんか

肩、腰のストレッチ、転倒予防に効果的な動きを取り入れた「SUN・サン体操～介護予防バージョン」で介護予防に取り組みませんか。指導日は運動などに関する個別相談にも応じます。

日時 月～金曜日（祝日除く）14:00～（15分程度）

場所 健康福祉センターはあとふる1階

▷半田運動指導士による指導日
2月26日（金）・3月12日（金）

※指導日は30分程度延長します。
※参加費無料、予約は不要です。

問合せ先 福祉課高齢者福祉部門
☎33-2105

案内 野生動物にエサを与えないでください

野生動物は自然の中で自然の食べ物食べて生きています。野生動物に人がエサを与えると…

①野生動物の数が増えます。
②人を怖がらなくなり、人に襲いかかることがあります。
③エサを捕ることが出来ず、自力で生きられなくなります。

また野生動物は人に感染するウイルスを持っていたり、フン害などにより人に悪影響を及ぼしたりする可能性があります。野生動物は自然のままの状態であるのが健全な姿です。

問合せ先 産業課農政部門
☎33-2121

案内 安心して豊かな老後生活 農業者年金への加入を

対象 60歳未満の国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する人

保険料 20,000円～67,000円/月（千円単位で自由に設定可能）

問合せ先 町農業委員会（産業課内）
☎33-2121

募集 町を花でいっぱいにする 町花の会会員を募集

花が好きなら誰でもOKです。私たちと一緒に町中を花でいっぱいにしませんか。

問合せ先 吉田町花の会
☎32-0601（松浦）

案内 「富士山の日」に展望台小山城を無料開放

2月23日の「富士山の日」に展望台小山城を無料で開放します。雪化粧の美しい富士山や南アルプス連峰、町の全景を360度パノラマでお楽しみください。

開催日 2月23日（祝）
時間 9:00～16:30（入場は16:00まで）

問合せ先 産業課商工観光水産部門
☎33-2122

募集 「チャレンジ教室」の講師を募集しています

「地域の子どもは地域で育む」を合言葉に実施しているチャレンジ教室では、学校では学べない知識や技術などを小学生に教えてくれる講師の皆さんを募集しています。特別な資格は必要ありません。

内容 各種スポーツや音楽、文化、芸術など

募集期限 3月4日（木）

問合せ先 生涯学習課社会教育部門
☎33-2152

募集 地域で子どもを育てる活動スタッフを募集

町内の全4地区（住吉区・川尻区・片岡区・北区）では「地域の子どもは地域で育む」を合い言葉に地域教育推進協議会を立ち上げ、伝統行事や農業体験などさまざまな活動を展開しています。各地区の協議会では、子どもたちと一緒に活動してくれるスタッフを募集しています。

問合せ先 生涯学習課社会教育部門
☎33-2152

結果 吉田町スポーツ祭の結果（優勝のみ）

テニス▷山根・杉本組

問合せ先 町体育協会事務局（中央公民館内）
☎32-3121

募集 パートタイムの給食調理スタッフを募集しています

吉田榛原学校給食共同調理場では、「パートタイム会計年度任用職員」（常勤職員よりも週の勤務時間が短く、任期の定めがある非常勤の地方公務員）を募集しています。

募集人員 若干名
※必要な資格はありません。

業務内容 給食調理業務
勤務時間 平日8:00～16:00（勤務時間は応相談）

給与 時給945円（賞与あり）
組合ホームページから「会計年度任用職員登録申請書兼登録票」をダウンロードし、必要事項を記入の上、吉田町牧之原市広域施設組合事務局（牧之原市細江6664-3）へ持参または郵送で提出してください。

問合せ先 吉田榛原学校給食共同調理場
☎32-1750

募集 町営住宅入居者・入居待機者を募集します

住宅 さくら団地
所在地 川尻210
間取り 3DK（8・6・6）

物件①平成元年度建設1戸
家賃 21,500円～42,300円

物件②昭和63年度建設1戸
家賃 21,200円～41,700円

※収入などに応じて決定

対象 下記をすべて満たす人

- ・住宅に困っている
- ・同居する親族がいる
- ・収入が基準以下
- ・市町村税の滞納がない
- ・町内に6カ月以上在住または6カ月以上在勤
- ・確実な連帯保証人がいる
- ・暴力団員でない

応募期間 2月15日（月）～26日（金）（応募者多数の場合は抽選）

申込・問合せ先 都市環境課都市計画部門
☎33-2161

募集 「ちいさな理科館講座」の受講者を募集します

3月の講座	
開催日	講座名
7日（日）	プログラミング集中入門3回講座 10:15～11:45
7日（日）	手でつかめる水、指の間から逃げる水を体験してみよう
13日（土） 14日（日）	空気と音について実験しよう
21日（日）	竜巻と雲を発生させよう（3～6年生対象）
27日（土） 28日（日）	サインペンの色を分離してみよう
28日（日）	理科館の周りの春の草木を探して食べよう 10:15～11:45

時間 13:30～15:00
場所 ちいさな理科館
対象 小学生以上
参加費 100円
申込方法 ①希望講座②学校名③氏名④住所・電話番号⑤保護者氏名を電話または同館窓口で直接申し込んでください。

申込時間 10:00～17:00（木・金・第3火曜日除く）

問合せ先 ちいさな理科館
☎34-5533

案内 福利厚生を充実・勤労者共済会に加入しませんか

榛南地区勤労者共済会は吉田町と牧之原市内の中小企業や商店などで働く人たちの福利厚生を支援しています。

会費 1人当たり800円/月（入会金1,000円）

特典 契約施設の料金割引、人間ドックや予防接種補助、映画やテーマパークなどの優待、慶弔給付金など

問合せ先 榛南地区勤労者共済会事務局
☎22-9671

子どもの相談室	知的障害者相談	心の病相談	子育て相談
相談日 毎週火～金曜日（祝日除く） 時間 8:30～16:30（水・木曜日は12:00まで） 場所 役場5階教育相談室 ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 学校教育課 ☎33-2151	相談日 3月2日（火） 時間 13:30～15:30 場所 健康福祉センターはあとふる1階ミーティングルーム ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 相談員 芝 ☎32-3065	相談日 3月17日（水） 時間 13:30～15:30 場所 障害者自立支援施設（あつまりーナ） ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 相談員 桑高 ☎32-1793	子育てに関する相談を随時受け付けています。 相談日 毎週月～日曜日（祝日除く） 時間 9:00～16:00 場所 子育て支援センター 問合せ先 子育て支援センター ☎28-7034
心配ごと相談	司法書士権利擁護相談	無料法律相談	日曜開庁実施日
相談日 3月10日（水）・24日（水） 時間 13:30～16:00（受付は15:30まで） 場所 健康福祉センターはあとふる1階ミーティングルーム 問合せ先 社会福祉協議会 ☎34-1800	成年後見制度や相続など 相談日 3月17日（水） 時間 13:30～16:30 場所 健康福祉センターはあとふる1階相談室 ※1週間前までに予約してください。 問合せ先 社会福祉協議会 ☎34-1800	トラブルや法律問題などについて弁護士に相談できます。 相談日 3月3日（水）・17日（水） 時間 13:30～16:30 場所 役場2階会議室 相談時間 1人30分間 ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 総務課☎33-2131	窓口業務を中心に85業務を実施しています。 開庁日 3月7日（日）・14日（日） 21日（日）・28日（日） 時間 8:15～12:00 13:00～17:00 問合せ先 総務課 ☎33-2132
建物の無料相談	消費生活相談	高齢者相談	創業支援相談
相談日 3月7日（日）・14日（日） 28日（日） 時間 10:00～12:00 場所 中央公民館2階IT講習室 ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 都市環境課 ☎33-2161	消費生活相談員による相談 相談日 毎週火・金曜（祝日除く） 時間 9:00～16:00 場所 役場6階産業課 上記以外でも随時受け付けています。事前に連絡してください。 問合せ先 産業課☎33-2122	介護予防、認知症、虐待など 相談日 毎週月～金曜日（祝日除く） 時間 8:15～17:00 場所 健康福祉センターはあとふる2階 問合せ先 地域包括支援センター ☎33-2323	町創業支援ネットワークが創業相談から実現まできめ細やかにサポートします。 相談日 月～金曜日（祝日除く） 時間 9:00～16:00 場所 役場6階産業課 問合せ先 産業課☎33-2122
無料税務相談	経営無料相談「よしサポ」	一般廃棄物最終処分場（工ボ池）休日搬入日	清掃センター・リサイクルセンター休日搬入日
相続税、土地取得税、贈与税など税全般について相談できます。 相談日 3月24日（水） 時間 13:30～15:30 場所 役場2階会議室 ※相談のある人は予約してください。 問合せ先 東海税理士会島田支部 ☎0547-37-6575	県よろず支援拠点専門アドバイザーが経営や起業などをサポートします。（予約制） 相談日 3月12日（金）・18日（木） 時間 9:30～17:00 場所 北オアシスパーク 問合せ先 まちづくり公社 ☎33-2700	搬入日 3月7日（日）・14日（日） 28日（日） 時間 13:30～15:30 ※搬入する場合は月～金曜日（祝日除く）に事前予約してください。 問合せ先 都市環境課 ☎33-2102	搬入日 3月6日（土）・14日（日） 28日（日） 土曜日 8:30～12:00 日曜日 8:30～12:00 13:00～15:00 住所、氏名、ごみの種別を申告 問合せ先 清掃センター ☎24-0530

乳幼児の健診・健康相談のご案内

乳幼児健診・健康相談の実施は、対象の人に個別で通知します。赤ちゃん健康相談の実施は、町ホームページまたはよしにこダイアリーで最新の情報を確認してください。

便利な「よしにこダイアリー」登録してスマートフォンやタブレットで、子どもの成長記録、予防接種スケジュールの管理が簡単にできる無料のアプリです。町からのお知らせも発信しています。

母子モ 検索

よしにこダイアリーのダウンロードはこちらから↓



Android版 iPhone版

子育て世代包括支援センターよしにこ	母子健康手帳交付	肝炎ウイルス相談・検査、エイズ検査、骨髄ドナー登録受付
妊娠期から子育て期のさまざまな相談に応じます。気軽に相談してください。	毎週月曜日 8:15~16:45	中部保健所（予約制） ☎054-644-9273
町健康ガイドWEB版	町民健康相談	不妊・不育相談
健康ガイドがパソコンやスマートフォンなどで閲覧できます。	3月1日(月)9:30~11:00 よりよい健康づくりのため保健師や管理栄養士が個別相談に応じます。 健康づくり課☎32-7000	専門家による電話相談や面接相談（予約制） 毎週火曜 10:00~19:00 毎週木・土曜10:00~15:00 県不妊・不育専門相談センター ☎080-3636-3229

3月の休診日当番医

- 7日(日) 藤本クリニック ☎24-1200
 - 14日(日) 三輪クリニック ☎32-7300
 - 20日(土) 玉井整形外科医院 ☎28-6667
 - 21日(日) 千内科クリニック ☎34-1001
 - 28日(日) いしだ眼科 ☎34-6789
- 診療時間 9:00~17:00
問合先 健康づくり課(保健センター) ☎32-7000

榛原医師会 検索

※変更になる場合がありますので榛原医師会のホームページで確認してください。

案内 夜間の救急は志太・榛原地域救急医療センターへ

志太・榛原地域救急医療センターでは入院を要しない夜間の救急(初期救急)に対応しています。事前に電話してから、保険証や各種受給者証、お薬手帳を持参して受診してください。

診療時間 月~金19:30~22:00
土・日19:30~翌朝7:00

診療内容 内科・小児科
(土・日の22:00以降は小児科のみの場合あり)

問合先 志太・榛原地域救急医療センター ☎054-644-0099

案内 「こども県議会」の動画を公開しています

県は、子どもたちに県政などへの関心を高めてもらうため、毎年「こども県議会」を開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本会議場での討論を取りやめました。代わりに特設ホームページを開設し、県内の中学校から選出されたこども議員の意見や、それに対する知事や副知事などからの答弁を動画で公開しています。

動画の閲覧はこちら▶

問合先 県広聴広報課 ☎054-221-2231

募集 吉田町スポーツ少年団の団員を募集します

対象 令和3年度小学1~6年生
入団費用 登録料400円のほか、保険料などが必要です。詳細は各団連絡者に問い合わせてください。

申込先 各団に入団費用を添えて申し込んでください。

団名	連絡者	問合先
住吉野球	福世 剛史	☎090-1627-2044
吉田中央野球	望月 貴光	☎090-2137-6701
自彊野球	大野 将人	☎090-5600-6280
住吉サッカー	佐藤 智	☎090-4863-1564
吉田中央サッカー	大島 津幸	☎33-1177/090-4853-1311
自彊サッカー	藤浪 英史	☎33-9533/090-1091-0112
吉田バレーボール	堀内 祐子	☎090-5457-1397
吉田町空手道	大塚 正文	☎090-9220-7173
吉田体操	西尾 佳苗	☎080-5463-2461
吉田ミニバスケットボール	男子) 増田成哲	☎090-7692-8841
	女子) 櫻井 功	☎090-2188-5589
吉田バドミントン	菊地 一誠	☎090-5611-8744
水龍館剣道	川本 貴浩	☎090-5610-1073

1月生まれの米寿者

水野 吏(片岡)	田村 イテ(住吉)	増田 敏子(神戸)
岸端 スエ(住吉)	水野 すぎ(片岡)	増田 つや(住吉)
岩倉 みつ(住吉)	本橋 忠司(住吉)	岩本 和子(神戸)
小塩 鋭藏(神戸)	峯野志津江(住吉)	
加藤 久枝(住吉)	松浦 芳江(片岡)	

※生年月日順(敬称略)

次回の楽市 **3月7日** 9:00~
能満寺山公園駐車場
新鮮な野菜や地場産品の販売、フリーマーケットもあります。

しらすのまどぐち情報(小山城売店)
町内しらす加工会社の商品をはじめ、町の特産品やよし吉グッズを販売しています。

県営吉田公園情報

申し込み・問い合わせはNPO法人しずかちゃん事務局まで☎33-1420

3月の園芸ミニ講座

日時 3月13日(土) 9:00~11:30
場所 管理棟内研修室
内容 折り紙で「暮らしを彩る春の花」をつくろう
参加費 500円
定員 10人
持ち物 のり、カッター
申込締切 2月28日(日)

【総合体育館】3月の主な利用予定

日	行事名	時間	問合先
6(土)	静岡県中学生バレーボールトレセン交流会	8:00~17:00	☎090-7854-0856(大橋)
13(土)	榛南卓球ランキング大会	8:00~17:00	☎080-3612-9791(長野)
14(日)	挟川女子バレーボール大会	8:00~17:00	島田商業高校 ☎0547-37-4167(佐野)
27(土)	全国新チーム	8:00~17:00	☎090-8738-5457(小杉)
28(日)	小学生バレーボール交歓会	8:00~17:00	☎090-8738-5457(小杉)

【学習ホール】3月の主な利用予定

日	行事名	時間	問合先
13(土)	踊りと銭太鼓の発表会	12:30~15:30	たつ美会・紅乃会 ☎32-2871(松浦)

2月水道料金・下水道使用料

水道料金と下水道使用料を一括して請求しています。期限内に支払いをお願いします。

使用年月: 令和2年12月~令和3年1月 納期限: 3月1日(月)
納付には、安全で便利な口座振替を利用してください。

☎上下水道課 水道業務部門 ☎33-2127/ 下水道業務部門 ☎33-1100

同報無線電話応答サービス ☎33-2777(通話料がかかります)
同報無線を聞き逃した、強風や豪雨によって聞き取れなかったといった場合に連絡してください。最新の同報無線放送内容を聞くことができます。

入札結果

入札結果を公表します

予定価格・落札価格は消費税込み

令和2年12月14日執行 指名競争入札

◆吉田町第1浄水場(浄水池) 外3施設清掃業務委託

指名 6社
落札業者 ノダック(株) 中部事業所
予定価格 1,661,000円
落札価格 1,617,000円
落札率 97.35%

◆吉田町立保育園等空気清浄機購入

指名 6社
落札業者 大同電気(株)
予定価格 5,148,000円
落札価格 3,960,000円
落札率 76.92%

令和2年12月16日執行 制限付き一般競争入札

◆吉田町立わかば保育園 隔離室設置工事

入札参加 2社
落札業者 八木産業(株)
予定価格 2,926,000円
落札価格 2,860,000円
落札率 97.74%
◆中央小学校外構改修工事
入札参加 1社
(入札不調につき随意契約)
落札業者 大石建設(株)
予定価格 3,575,000円
落札価格 3,520,000円
落札率 98.46%

令和3年1月19日執行 抽選型指名競争入札

◆川尻地内道路冠水対策工事(河川改修)
入札参加 10社
落札業者 たむら建設(株)
予定価格 19,536,000円
落札価格 16,467,000円
落札率 84.29%

※入札結果は町のホームページ(<http://www.town.yoshida.shizuoka.jp>)に掲載しています。問合先 総務課 契約管理部門 ☎33-2133



Tosyokan dayori

としょかんだより

Vol.279

15日は「お菓子の日」

毎月15日は「お菓子の日」です。普段私たちが食べているお菓子の歴史はとても古く、木の実や果物をお菓子として食べていたことがそのルーツといわれています。古来から多くの人々に愛され続けてきたお菓子にまつわる本を集めてみました。

◎関連図書

『調べてみよう』

都道府県の特産品お菓子編
都道府県の特産品編集室編／理論社

47都道府県のそれぞれを代表するお菓子を紹介し、各地域の風土や歴史など各都道府県の特徴についても学ぶことができます。江戸時代から続く伝統の駄菓子も多数掲載しています。



『チヨコレート物語』

佐和みずえ著／くもん出版

ロシア革命の混乱から逃れ、日本にたどり着いたモロゾフ一家は神戸でチヨコレート店を開くことに。戦争による材料不足など、あらゆる困難に立ち向かいながらチヨコレート作りに人生をかけたモロゾフ一家の物語です。



『鉱物のお菓子』

さとうかよこ著／玄光社

見た目がおいしそうなお菓子を、琥珀糖や洋菓子で本物そっくりに再現するレシピ本です。作ったお菓子を瓶や箱に詰めれば、鉱物の標本を作ることが出来ます。透き通ったきれいな鉱物の写真も掲載され、見どころたっぷりの一冊です。



◎映画会のお知らせ

日時 (前編) 3月7日(日)
(後編) 3月14日(日)
いずれも14:30
場所 図書館1階
視聴覚ホール
作品 『魚河岸ものがたり』
上映時間 (前編) 133分
(後編) 88分

東京築地にある魚河岸の町に住み着いたある一人の青年が、何やら秘密を抱えている様子で人目を忍んで暮らしていた。知らない町で心意気あふれる人々と触れ合ううち、徐々に明らかになっていく彼の過去とは…。

2月 図書館休館日のお知らせ							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28							28	29	30	31			

●は休館日 開館時間 月～木曜日10:00～18:30 土・日・祝日9:30～17:30

催し物のご案内

◎交流ストリート

- ▷吉田特別支援学校 児童生徒の作品展示 2月25日(木)～3月10日(水)
- ▷町文化協会絵画部 絵画の展示会 3月6日(土)～13日(土)
- ▷東日本大震災写真展示 3月11日(木)～22日(月)

「広報よしだ」を音声でも届けています

8人のボランティアが毎月交代で音訳している「広報よしだ」の録音テープは、音声で町のわだいや大切な情報を伝えていきます。仕事の合間を縫って活動するメンバーは「自分の声が役に立ってうれしい。可能な限り続けていきたい」と話しています。テープは2階カウンターの横にあり、誰でも借りることができます。



問い合わせ 図書館 ☎33-3434 ☎33-2300

URL <http://www.lib.yoshida.shizuoka.jp/> 携帯電話からは<http://www.lib.yoshida.shizuoka.jp/mobile/>

※新型コロナウイルスの影響により日程や開催について変更する場合があります。最新の情報は図書館までお問い合わせください。

学校給食メニュー

MENU 179



(大豆とじゃこウインナーの揚げ煮)

今回は、町の特産品「しらす」を乾燥させた「ちりめんじゃこ」を使った料理を紹介します。

ちりめんじゃこは、骨や歯を丈夫にする働きのあるカルシウムをたくさん含む食品です。カルシウムは、成長期の子どもの体づくりに不可欠な栄養素で、健康のために大人も積極的に取りたいものです。地元の食材を活用しながら、健康な体を作りましょう。

●材料 (4人分)

- 水煮大豆…… 120g
- かたくり粉…… 適量
- 揚げ油…… 適量
- ウインナー…… 50g
- ちりめんじゃこ…… 30g
- 油…… 小さじ1/2
- 砂糖…… 大さじ1

- みりん…… 小さじ1
- しょうゆ…… 大さじ1/2
- 水…… 大さじ1
- いりごま…… 小さじ1

大豆やじゃこはかみごたえたっぷり。よくかんで食べることは虫歯や肥満の予防、脳の働きを高めることにつながります。

●作り方

- ①小鍋に砂糖、みりん、しょうゆ、水を入れて火にかけ、ひと煮立ちしたら火を止める。
- ②大豆は水気を切ってかたくり粉を薄くまぶし、170～180℃の油でカラッと揚げる。
- ③フライパンを火にかけて油を入れ、1㎝幅に切ったウインナーを炒め、ちりめんじゃこを加えてさらに炒める。
- ④①～③を混ぜ合わせ、いりごまを散らす。

あなたの税金が町をつくります

2月の納税

- 固定資産税 第4期
- 都市計画税
- 国民健康保険税 第8期
- 3月1日月までに納めてください

納税は口座振替が便利です
問合せ先 税務課 収納管理部門 ☎33-2109

広報はいく

あらたまの富士の高嶺の雪白し 良知 晴代
潮騒の聴こゆる丘や椿咲く 半田 豊
マスクして心新たに初旬会 久保田 房子
牛舎より聞こゆる父のたくしやみ 武田 ハツ
逢ひたくても逢えぬ友あり去年今年 大塚 和世
元日や遠慮に福の絵文字あり 桜井 照子

広報たんか

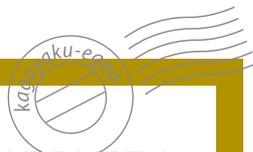
玉ゆら短歌会
席を空け検査結果を待つ午後 鴨川 友江
の木漏れ日の射す廊下はしんと 友江
極上の紅葉の季に弟遊く逢い 友江
たかたねむかし日しのぶ 友江
冬立ちし夕空渡る五六羽の鷺 田中 律子
の行方の案じられる 藤田 一男

地区	氏名	世帯主
片岡	坂井 時江	英
北岡	岩村 政夫	人
住吉	萬年 政夫	人行
片岡	増田 康	孝
北岡	秋山 勝代	明
川尻	八木 秀巳	本
住吉	増田 久代	和
住吉	飯田 健一郎	本
川尻	杉本 ちあ	繁
住吉	萩原 六男	徹
住吉	山田 あい	文
住吉	三輪 ふさ	進
片岡	増田 まき子	竜
吉永	吉永 ちよ	錦
片岡	吉永 ちよ	司

令和3年1月31日現在
住民基本台帳人口29,407人 (前月比-14人)
男 14,678人 女 14,729人
※内外国人 人口 1,726人
男 746人 女 980人
世帯数11,623戸(前月比+13戸)
組数 522組(前月比-2組)
出生 13人 死亡 41人
転入 108人 転出 91人

人の動き

※その他の増減-3



YOSHIDA

2月生まれ

かがやく笑顔



Happy Birthday

ハッピーバースデー



なが た み らん
永田望藍ちゃん

(3歳・神戸)

いつも元気いっぱいのみらんちゃん！3歳おめでと♡これから元気いっぱい遊ぼう♪



みず の かん な
水野栞那ちゃん

(3歳・片岡)

3歳おめでとう♡歌と踊りが好きな栞那。いつもみんなを笑顔にしてくれてありがとう♡



か どう め い
加藤芽生ちゃん

(2歳・住吉)

めめちゃん2歳おめでとう♡いつも元気で笑顔いっぱいのかわいいめめが大好きだよ♪



みず しま さ な
水嶋紗菜ちゃん

(2歳・住吉)

すべり台が大好きなちゃーちゃん。2歳おめでとう♡元気がいっぱい大きくなってね！



なが むら うた
中村詩ちゃん

(1歳・神戸)

白飯とイチゴ大好き！おしゃべりいたずらも得意な詩♪これからも伸び伸び大きくな～れ☆



み うら あお
三浦葵くん

(3歳・神戸)

いつもみんなを笑顔にしてくれる葵くん。葵くんらしくマイペースに大きく育ててね！

**お子さんの
かがやく笑顔募集！**
3月号の対象者

▶町内在住で3月に1歳～3歳(平成30・31・令和2年の各3月生まれ)の誕生日を迎えるお子さんを6人募集します。なお応募者多数の場合は抽選となります。
※抽選の結果は、当選した人へのみこちらから詳細について書類を郵送します。
応募期限 2月22日(月) 17:00まで
応募・問い合わせ 総務課 秘書広報部門 ☎33-2131(電話で受け付け)

Editor's note ●

編集後記

初めて成人式を取材しました。コロナ禍の影響でマスク着用などの感染対策が徹底され、例年よりも短時間の式典になりましたが、同級生や恩師と再会した新成人たちはマスク越しでも分かるくらい満面の笑みを浮かべ、一生に一度の晴れの日を心から楽しんでる様子でした▼新成人たちは、久しぶりの再会でもすぐに意気投合。「一瞬で昔に戻れるね」話してて楽。なんだか落ち着く。そんな風に話す新成人たちを見て、同級生っていいなあと改めて感じました▼さまざまな人生を歩む同級生との語らひは、楽しいだけでなく多くのことを学べると思います。20歳当時学生だった僕は成人式の日、既に就職したり結婚したりしている同級生から仕事や家庭への思いを聞き、自分の人生について考えるきっかけをもらいました▼今年は式典後に同窓会などを自粛するよう呼び掛けられ、新成人たちはお酒の席でゆつくりと語り合うことはできなかつたかもしれません。今はSNSなど手軽にコミュニケーションをとれるツールがたくさんあります。いろいろなツールを上手に活用して同級生たちと語り合い、互いに刺激し高め合いながら、無限の可能性が広がる未来へ羽ばたいていってほしいと思います。

総務課 秘書広報部門 曽根勇貴